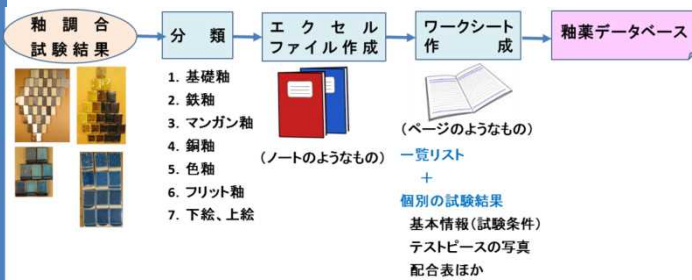


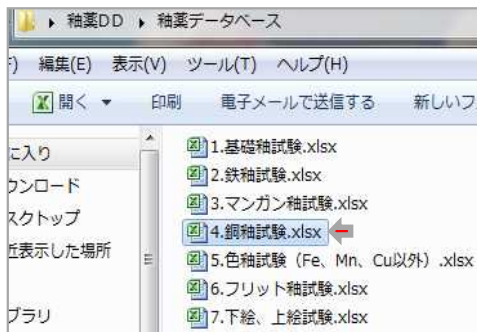


釉薬データベースの提供

分野：生産技術の高度化 担当：環境・資源班
支援先：陶磁器製造業



釉薬データベース化の流れ



釉薬データベース (EXCELファイル)

台紙 No	作成年	配合試験名	釉調の変化(概略)
32	91	具志頭白土-白釉-土灰配合系+オグスヤ-のもの種類(K)と添加量の違いによるオグスヤ(銅青磁釉)試験	銅青磁釉(オグスヤ)、銅なまご釉 一部の試験体に剥離有り
33	91	具志頭白土-白釉-土灰配合系+オグスヤ-のもの種類(K)と添加量の違いによるオグスヤ(銅青磁釉)試験	銅青磁釉(オグスヤ)、銅な
34	91	具志頭白土-白釉-土灰配合系+オグスヤ-のもの種類(K)と添加量の違いによるオグスヤ(銅青磁釉)試験	銅青磁釉(オグスヤ)、銅な

EXCELファイル内の個別データ例

【はじめに】

工業技術センターでは、陶磁器製造技術の向上を支援するため、原料や化粧土、釉薬等に関する研究や技術相談・指導、技術者研修などを実施しています。

平成29年度、これまでの釉薬に関する研究成果をはじめ、保有する870件余の釉調合の試験例を釉薬データベースとして構築し、業界の方が行う釉調合や釉調の改善に活用できるようにしました。

【釉薬データベースの内容と利用方法】

釉薬データベースは、釉薬の種類毎にエクセルファイルで構成されています。各ファイルには試験条件等の基本情報やテストピースによる試験結果、配合割合が収められています。希望する試験結果をパソコンでの閲覧と実際のテストピースで確認し、必要な情報を持ち帰ることができます。

【成果】

平成29年9月、釉薬データベースの利用促進及び釉調合技術の向上を目的とした講習会を開催しました。

今後も、釉薬データベースの充実化、普及活動に取り組んで行く予定です。

